

9年間を見通した教育課程に基づく小中一貫教育の推進

～仲間とともに学び合い、課題を解決する生徒の育成～

湧別町立湧別中学校 学級数7 (校長 杉山 英司)

I はじめに

本校は、令和5年度の湧別地区義務教育学校「ゆうべつ学園」設立に向けた準備として、令和3年度から、町が推進する「湧別町学力向上事業」の中心校である湧別小学校と連携し、小中一貫した教育課程の編成や小中共通した指導方法の改善など、小中一貫教育の取組を推進している。

II 小中一貫教育を推進するための体制の整備

義務教育学校の開設に向け、湧別小・中学校の管理職及び保護者、地域住民を委員とする湧別地区義務教育学校開校準備委員会を組織し、9年間で育成を目指す子どもの姿を「多様な人々と協働しながら学び続ける力の育成」と設定した。また、小・中学校の全教職員が5つの課題別部会に分かれ、教科系統表や9年間を見通した「学びのデザイン」、生活のきまり、行事計画の作成を行うなど、組織的な取組を推進することにより、教職員の学校運営に対する参画意識の向上につながっている。



【湧別地区義務教育学校開校準備委員会】

III 具体的な取組

1 地域素材を活用した「ゆうべつ学」の取組

小・中学校の総合的な学習の時間において、湧別町を題材とした「ゆうべつ学」を開設しており、小学校第3学年から中学校第3学年までの7年間を通して、個人で探究課題を設定し、校内での異学年交流や地元の方々、他地域の方々と学び合う学習活動により、小・中学校で系統的に「生きる力」の育成に取り組んでいる。



【「ゆうべつ学」におけるフィールドワーク】

2 資質・能力を教科等横断的に育む単元配列表の作成

湧別地区義務教育学校「ゆうべつ学園」設立に向け、9年間の学習内容を系統付け、深い学びへと発展させるために、単元配列表を整備し、教科等横断的な視点で教育課程を編成するとともに、日常の授業において、教科間の関連性や系統性を意識した授業を推進している。

学年	令和4年度		第2学年		1年間を見通した単元配列表	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
国語	人文学(国語)	国語	国語	国語	国語	国語
算数	算数	算数	算数	算数	算数	算数
理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科
社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間

【単元のつながりを可視化した単元配列表】

3 学習規律・家庭学習の取組方法の統一

小・中学校が連携し、湧別町で目指す子どもの姿の実現に向けた取組として、各学校が統一した学習規律の指導を行うとともに、発達の段階に応じた「家庭学習の手引き」を作成し、教職員、児童生徒及び保護者で共通理解を図っている。

4 外部講師を活用した授業改善

北海道大学大学院教育学研究員教授 守屋 淳 氏を講師として招聘し、小・中学校の教員が協働的な学びのある授業づくりを通して、主体的に学びに向かう力を育成する方策について理解を深め、授業改善に取り組んでいる。自ら学ぶ意欲の向上が児童会・生徒会活動にも波及し、児童生徒の力で学校をよりよくしていこうとする活動につながっている。



【守屋教授の講演会】

5 学校評価の質問項目の共有化

湧別地区義務教育学校「ゆうべつ学園」設立に向けて「教育活動の連続性の確保」「教育課程、指導形態の工夫・改善」の視点から質問項目を共通して設定し、学校評価の共有化を図ることにより、ベクトルを揃えた学校改善につながっている。

IV 成果(○)と課題(●)

- 小・中学校が連携して教育課程を編成することにより、「多様な人々と協働しながら学び続ける力の育成」という目標の共有化と育成を目指す資質・能力の明確化が図られ、9年間を見通した教育課程の改善・充実につなげることができた。
- 生徒がふるさといについて学ぶ「ゆうべつ学」の充実に向け、総合的な学習の時間を中心とした教科等横断的な視点から教育課程の更なる改善を図るとともに、中学校教員による小学校への乗り入れ授業の実施方法を工夫し、小・中学校が連携した指導方法の工夫改善を図る必要がある。